

世は衣食住の三の中に、食を天として第一となせるは、釋迦孔子の八千餘卷も、毛嬙西施が三十  
 二相も、喰はねば面白からぬ故也。○中さらや五器、皿のうつは物さへ萬葉、古風には、椎の葉にも  
 るとよみ置しを、東山殿の物數寄より、赤繪錦手の風流にわたる、それが中にも此杓子は、神代に  
 三杓の姿を失はず、蒔繪のさたに及ばぬもたふとし、そののち信長の信玄のと、鍵長刀の骨をお  
 りて、我朝の王道をおさめむとせしに、今は是をもて彼をまねげば、百万の敵をもいやがらせ、遊  
 行はあらめの一杓子に、八十万人をすくひ給ふとよ、まければ佛法といひ、王法といひ、三種の神  
 器は雲井の沙汰にして、是は万民の重寶といふべし、

註曰、○中按ズルニ、童、諺ニ杓子ニテ人ヲ招ゲバ、必ず死スルトテ忌ム事ナリ、何故ニヤ知ラズ、  
〔鶉衣拾遺上〕杓子銘、或人杓子を床の飾物に、物

爰に千早振お多賀杓子ありて、用ひざれば鼠と遊びて、味噌桶の陰にかくれ、用ひられては、虎の  
 勢ありて、床のうへにもものぼらんとす、ざるを杓も摺小木も同じ幸を眞似んと思へる、これを世  
 のたとへにして、杓子定規とはいふなりけり、

〔三省錄四附言〕水藩の檜山氏が慶安五辰年四月十五日を同廿二日まで、○註水府の御宮別當なる  
 東叡山中吉祥院が、江戸の水戸江下りたりし時分の、賄料請取品直段書付、井入用をゑるしたる  
 ものを見せたるが、其直段の下直なる事おどろく計也。○中

一玉玄やくし 三本 壹本ニ付八文ツ、  
 一具玄やくし 五本 壹本ニ付四文ツ、

〔倭名類聚抄十四厨膳具〕弗、練 唐韻云、弗初限反、與割同、炙、突、弗也、練音束、弗、練、炙、具也、

〔箋注倭名類聚抄十六厨膳具〕按、夜伊久之、燒串之義、久之、刺肉之名、與櫛以插髮有久之之名同、○中下  
 總本串皆作弗、廣本同、伊呂波字類抄也、部亦作弗、按、廣韻、弗、炙肉弗、初限切、串穿也、習也、古患切、二

串